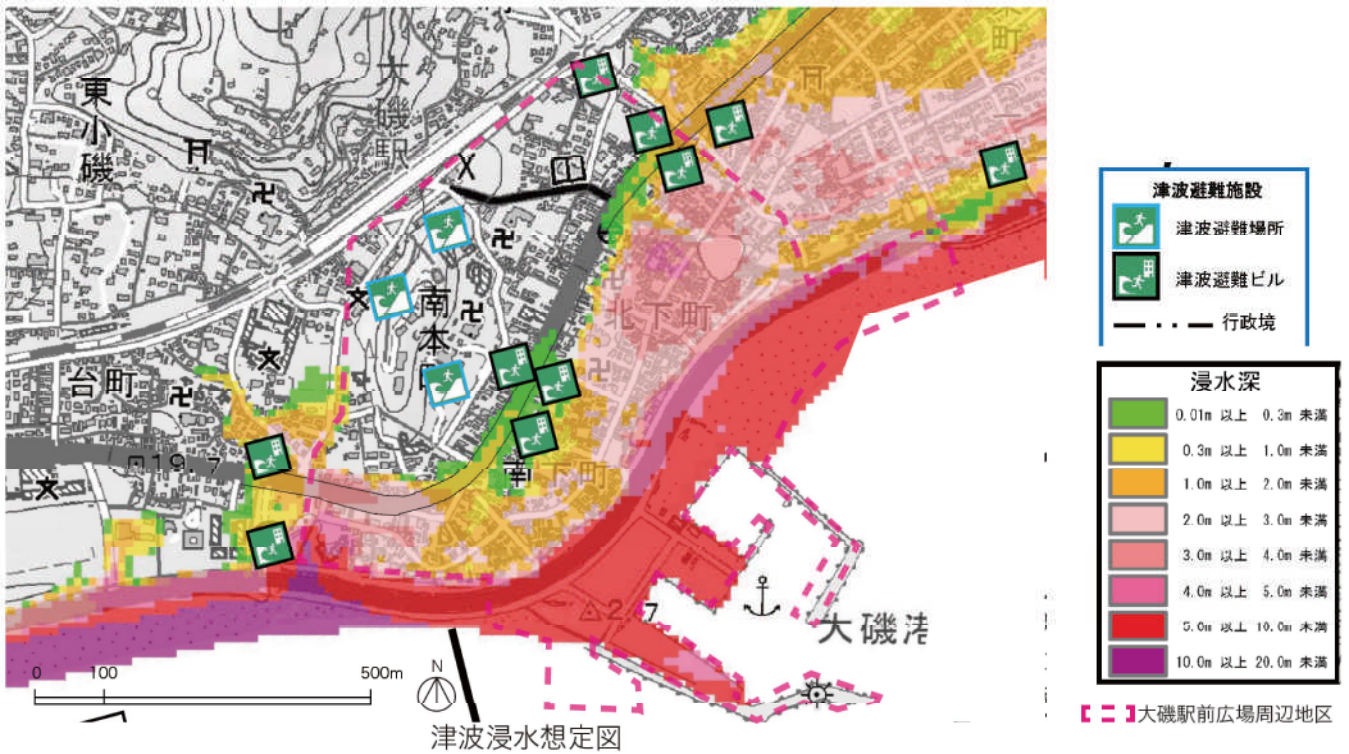


2-3. 計画地の現況調査

(2) 土地利用規制等

④津波浸水想定図

- ・ 駅前広場周辺地区は、概ね国道1号から南側で津波浸水想定されている。

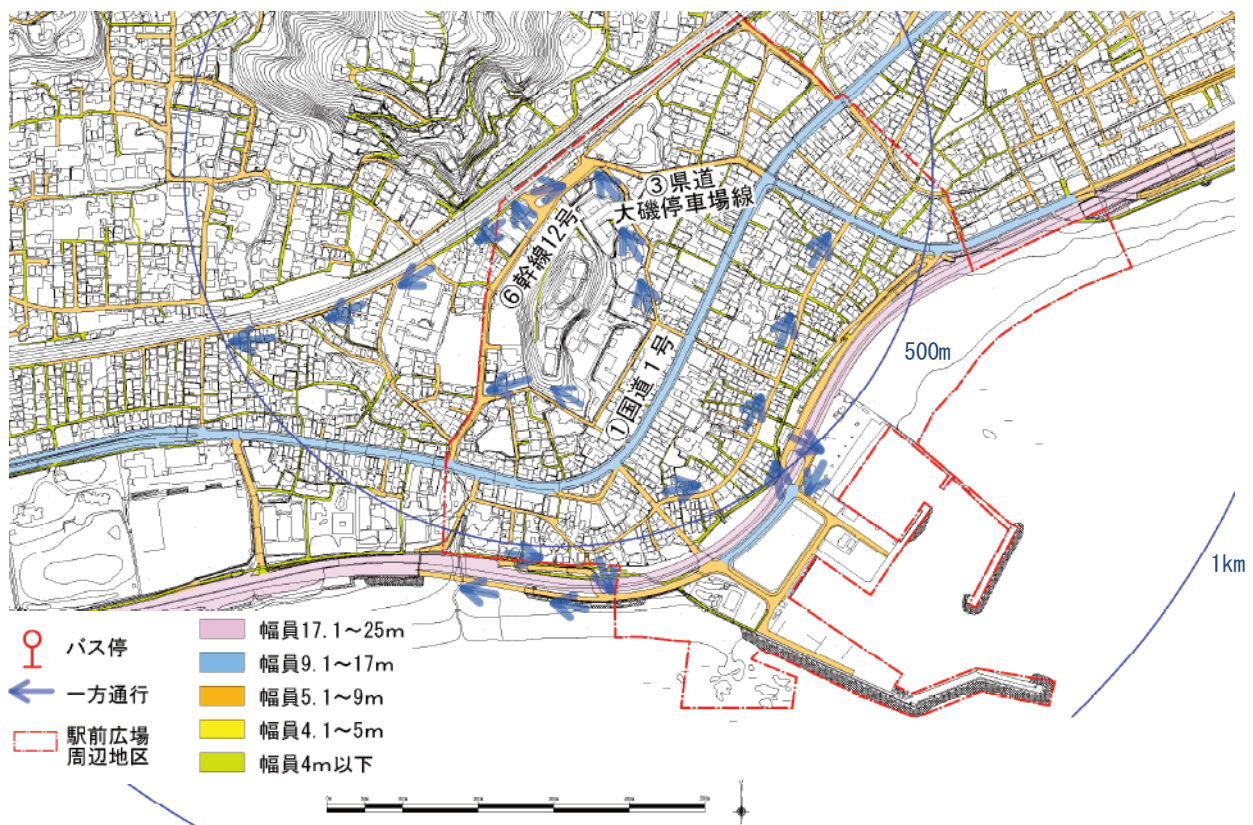


2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現状

①道路

- ・ 幹線12号の幅員は約7.6m、県道大磯停車場線の幅員は約7.9mである。



2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現況

①道路

- ・ 県道大磯停車場線と幹線12号の断面を示す。



位置図

番号	名称	管理者	現況断面図 ◆代表地の道路横断面図のため部分的に道路幅員や幅員構成が異なります。
③	県道大磯停車場線	神奈川県	
⑥	幹線12号線	大磯町	

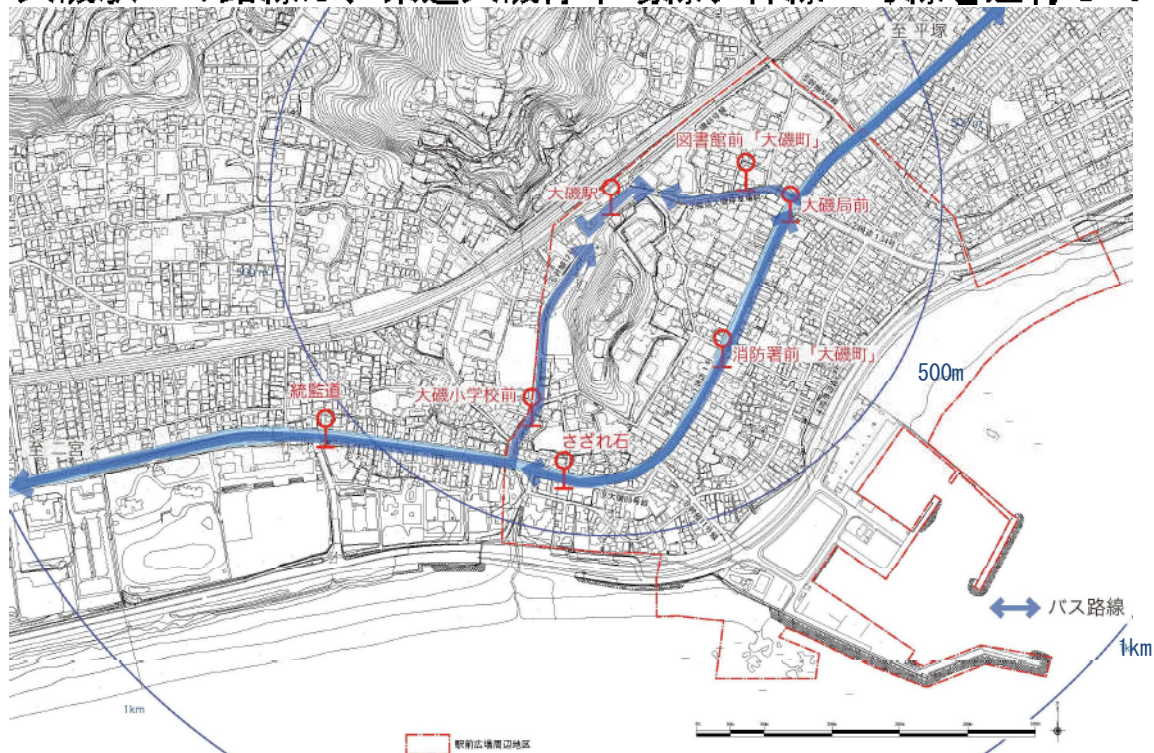
出典：大磯駅バリアフリー基本構想（平成23年3月大磯町）

2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現況

②バス路線

- ・ バス路線は、平塚駅、大磯駅、二宮駅などを結んでいる。
- ・ 大磯駅への路線は、県道大磯停車場線、幹線12号線を通行している。



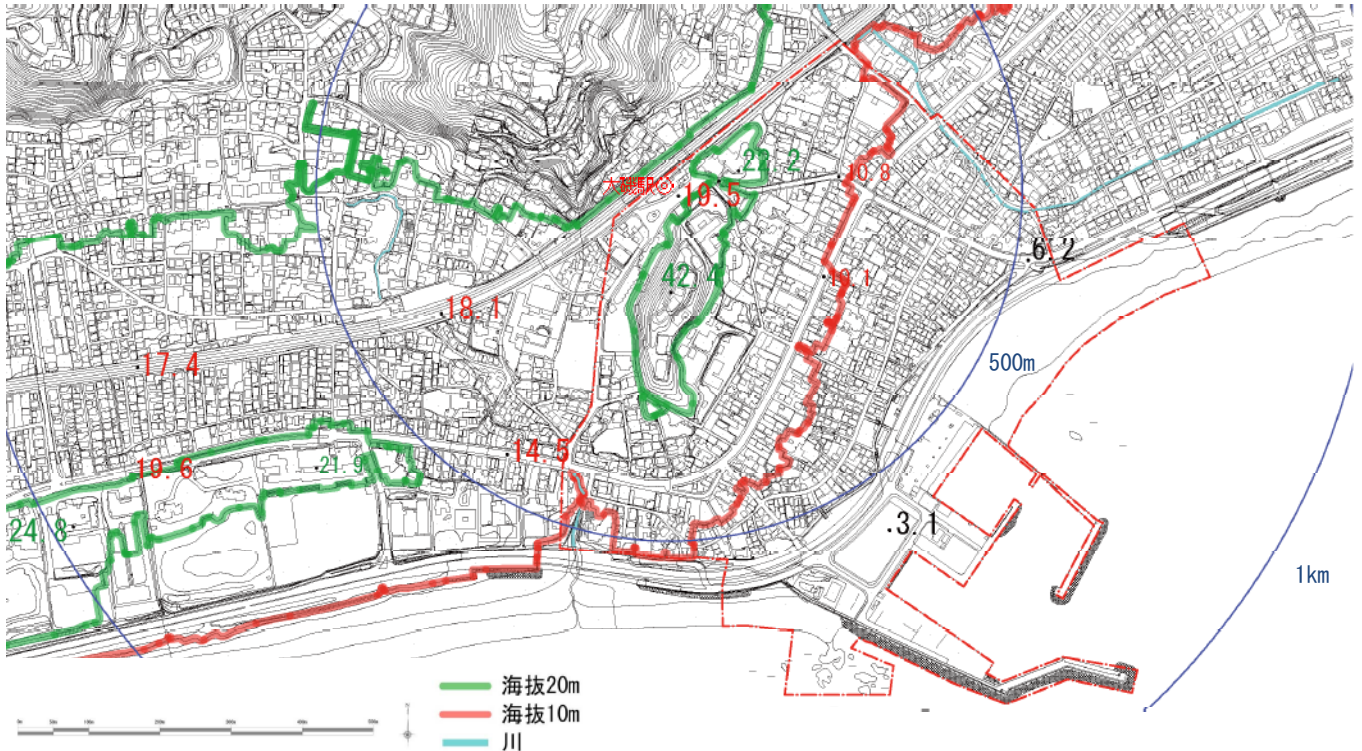
2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現状

36

③地形

- ・大磯駅は海岸線より約500mに位置する。
- ・大磯駅は概ね海拔20m、国道1号は概ね海拔10m。



2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現状

37

④公共施設、社寺等の分布

- ・駅前広場周辺地区は、町の主要公共施設や社寺仏閣、史跡が分布し、町の中心拠点となっている。

・大磯駅前及び海岸沿いはかつて邸園が多く存在していたため、当時の風情がわずかに感じられる。

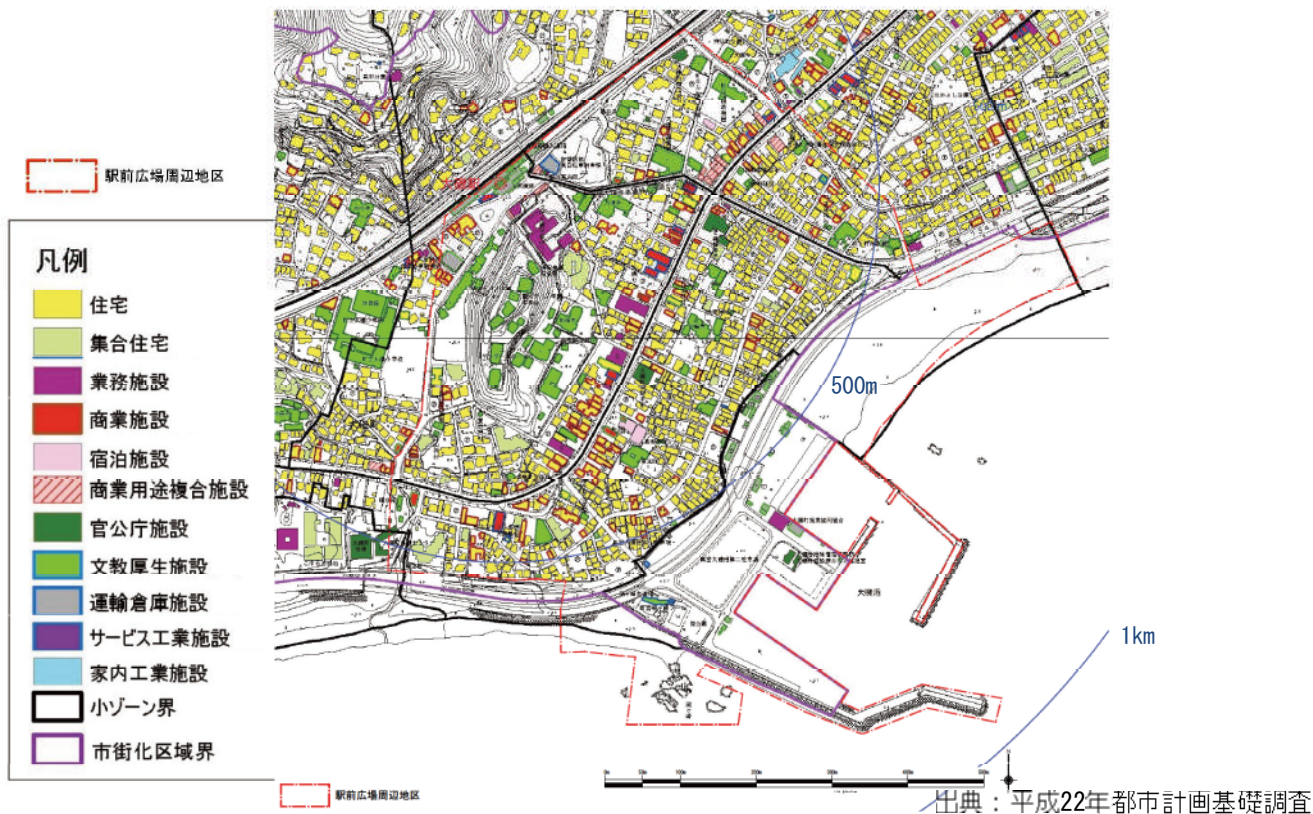


2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現状

⑤ 建物用途現況図

- ・ 駅周辺は文教厚生施設が多く、国道1号沿いは業務施設が多い。

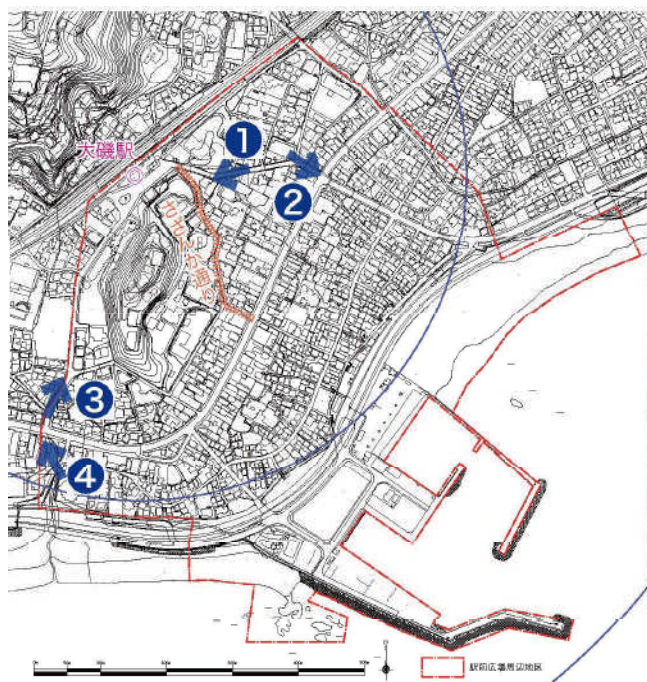


2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現状

⑥ 現況調査

- ・ 大磯駅への主要アプローチ道路の県道大磯停車場線と幹線12号線は歩道が狭い。



① 県道大磯停車場線
坂道でカーブしており歩道が狭い。



② 大磯駅入口交差点
歩道橋と横断歩道の両方がある。



③ 幹線12号線
聖ステパノ学園側歩道のみ
ガードレールが設置されている。



④ 鴨立沢交差点の様子

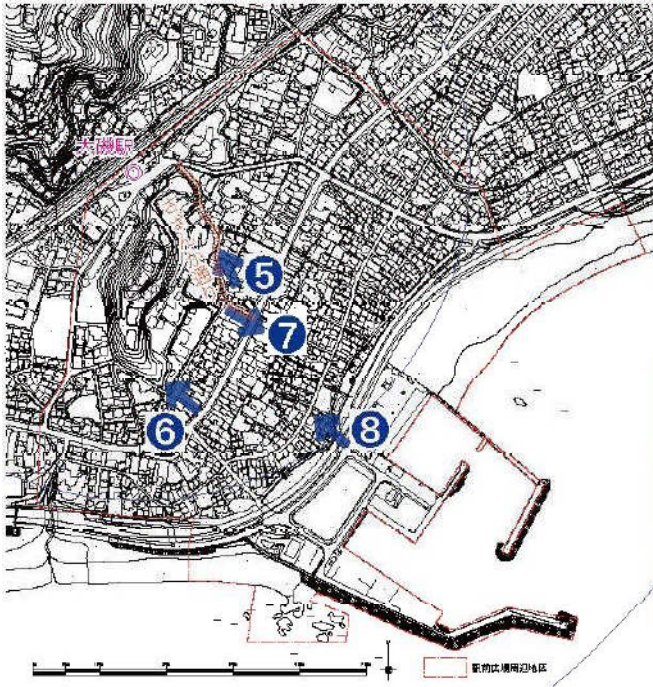
2-3. 計画地の現況調査

(3) 周辺地区の現況

40

⑥ 現況調査

- ・ さざんか通りは、車の交通量が少なく駅と港間の散策路として歩きやすい。
- ・ 港沿いから1本山側に入った通りは、松や神社、道祖神、蔵等が点在して宿場町の雰囲気を残している。



⑤ さざんか通り
通り沿いには風情ある建物が多い。



⑥ 愛宕神社脇の切り通し
岩肌剥き出しの特徴的な空間



⑦ 国道1号から港へ向かう路地



⑧ 熊野神社の参道
通りの所々で神社や蔵が見られる

2-3. 計画地の現況調査

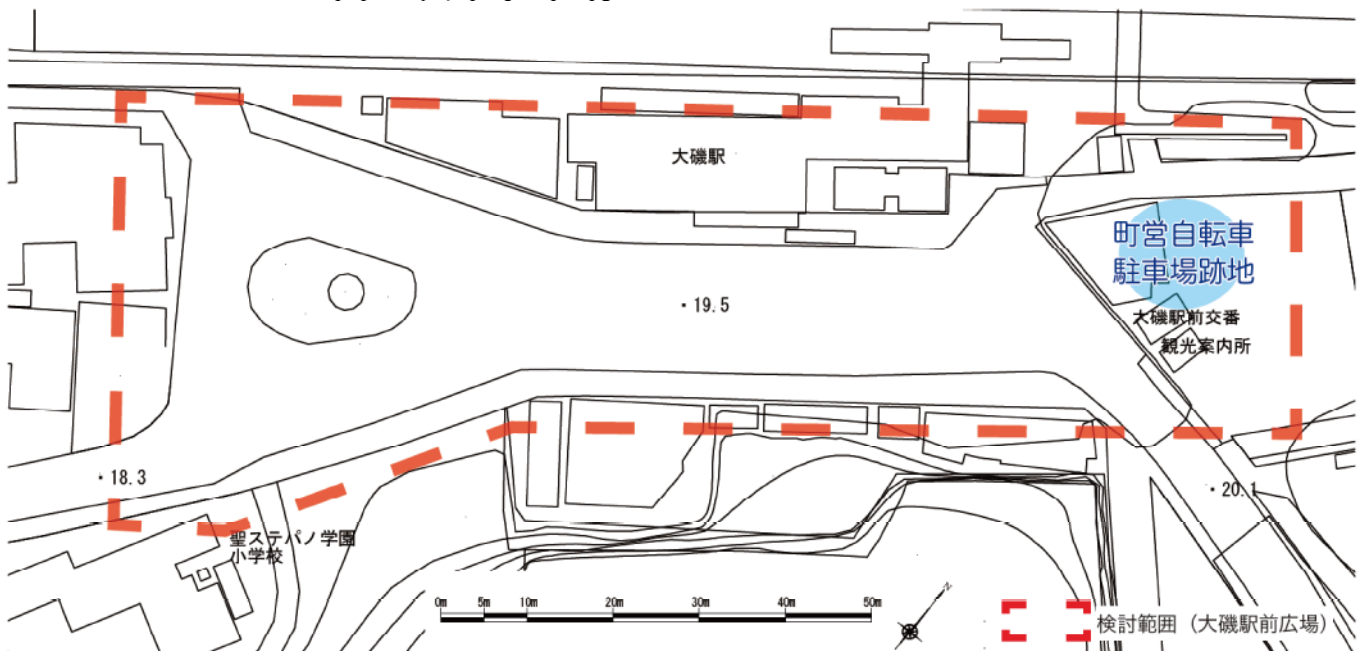
(4) 駅前広場の現況調査

41

① 検討範囲と広場の現況

検討対象範囲面積は約6,000m²である。

- 検討内容：
- ・ 交通動線等の計画
 - ・ 駅前広場機能の配置計画
 - ・ 町営自転車駐車場跡地の計画

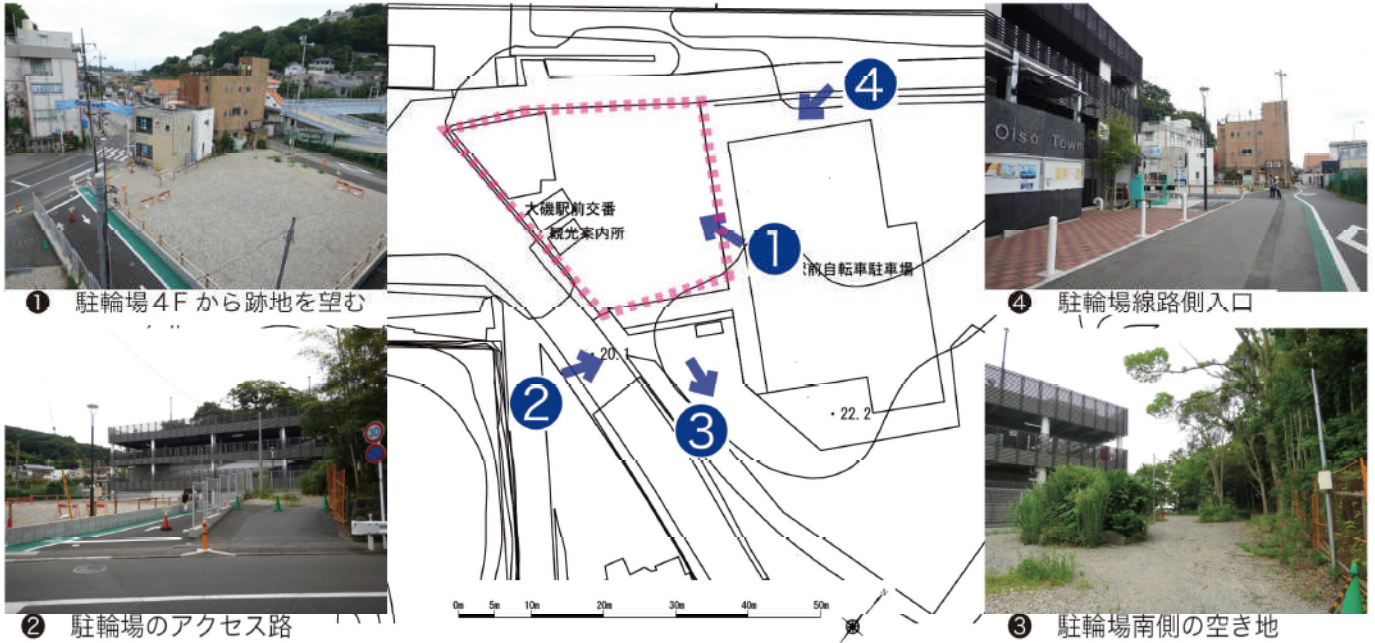


2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

②町営自転車駐車場跡地周辺の現況

- ・跡地は、商業施設、交番、観光案内所を含めて約800m²である。
- ・道路に接しているのは、北側（線路側）西側（駅前広場）である。
- ・敷地南側は、邸園跡地の空き地になっている。

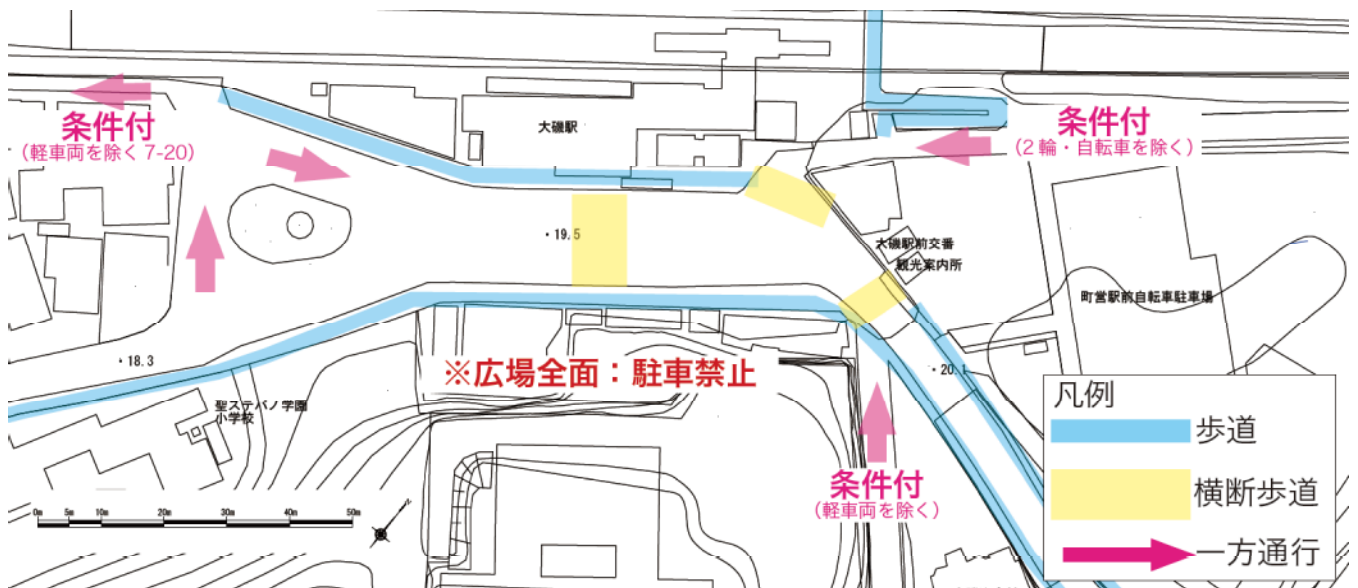


2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

③交通規制状況

- ・駅前広場への接続は国道への主要動線以外は条件付の一方通行である。
- ・西側ロータリーは時計回りの一方通行となっている。
- ・駅前広場は駐車禁止となっている。

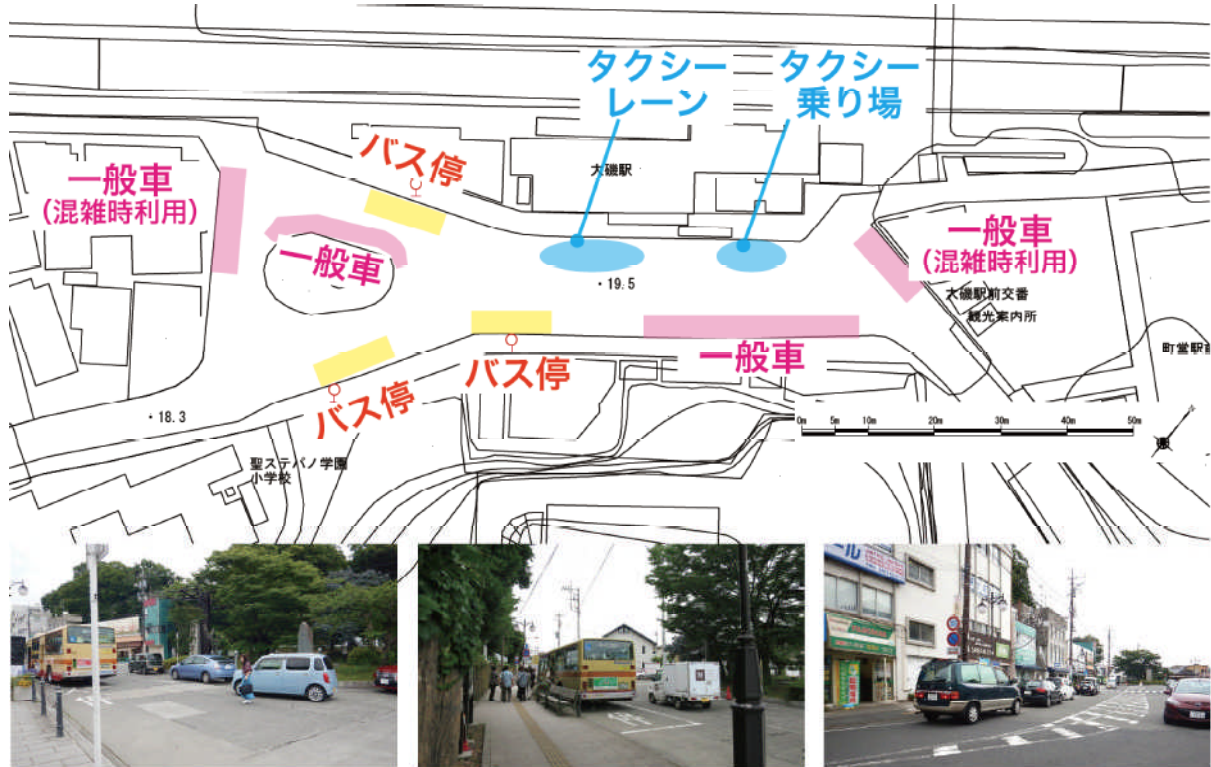


2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

④ 交通利用状況

- 広場スペースが狭く、混雑時には各交通が交錯している。
- 一般車の停車は空いているスペースに決まりなく停車している。



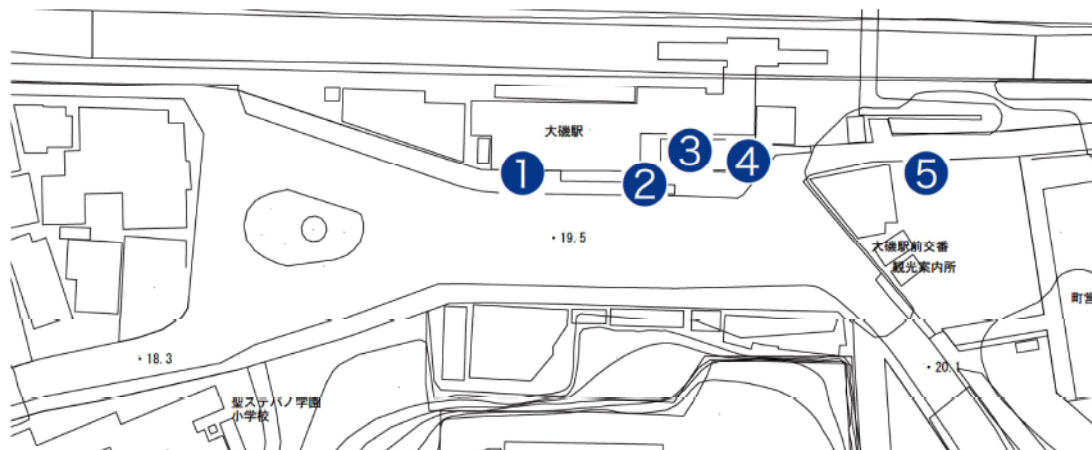
2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

⑤ 施設



照明灯 ①ベンチ、ポスト、自動販売機 ②タクシー乗り場、ベンチ ③荷物受取ロッカーと公衆電話 ④公衆トイレ案内サイン



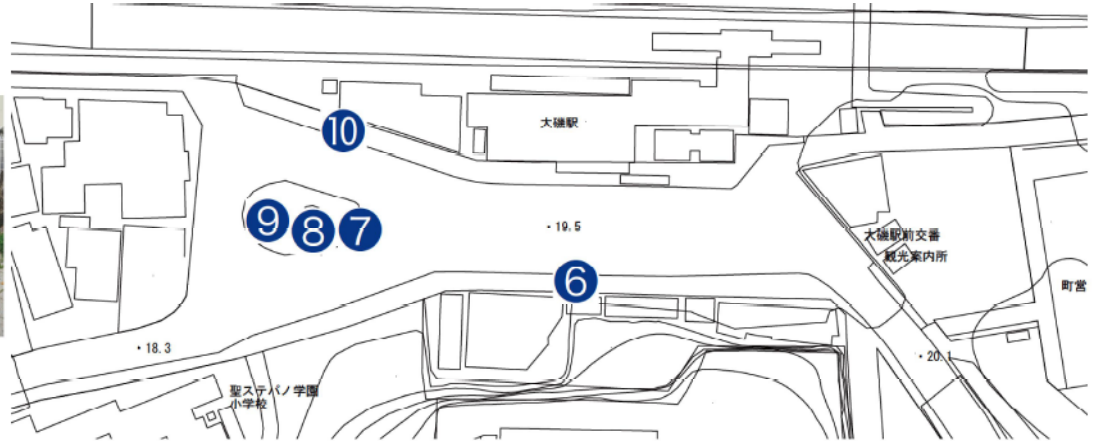
2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

⑤施設



⑩石碑の説明板と
駐車禁止サイン



⑨ロータリー内の石碑
(左:湘南発祥の碑、
右:避暑地記念碑)



⑧ロータリー内の池



⑦ロータリーの植栽
とモニュメント



⑥警察
通報装置

2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

⑥景観

- ・ 駅舎や大磯迎賓館等ファサードの特徴的な建物が点在する。



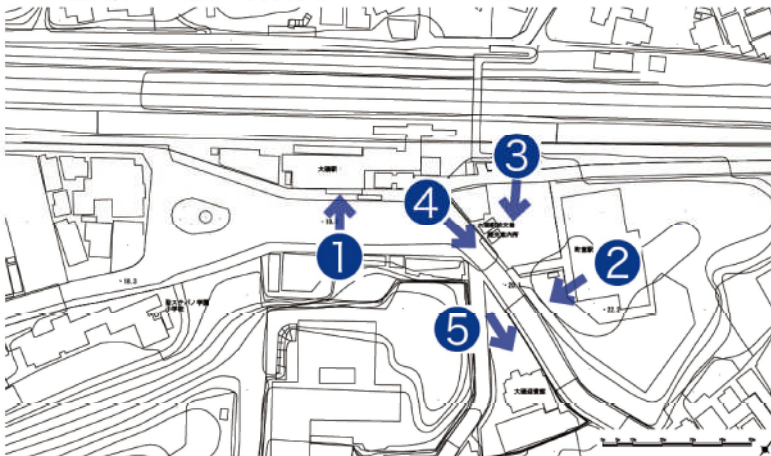
①駅舎のファサード
赤茶の屋根が特徴的



②駅前広場南側の
緑のボリューム



③町営自転車駐車場跡地から
望む大磯迎賓館



④東側のアーケード



⑤国登録有形文化財に
登録されている大磯迎賓館

2-3. 計画地の現況調査

(4) 駅前広場の現況調査

⑥ 景観

- ・南北を丘に挟まれ、緑に覆われた特徴的な景観となっている。



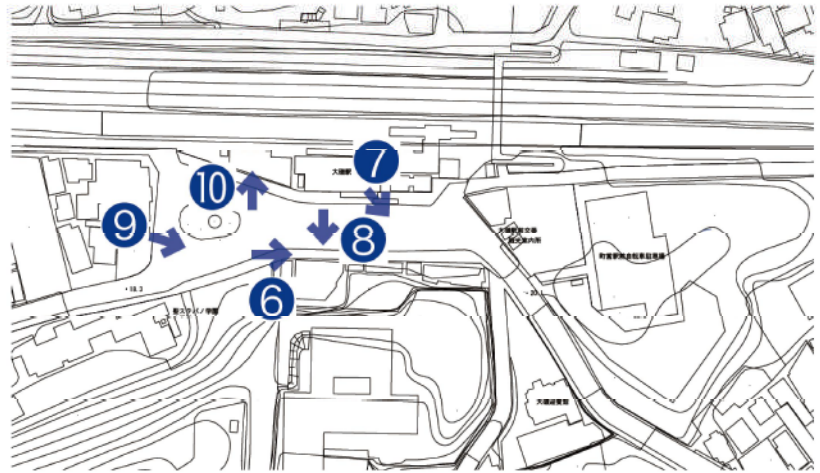
⑩ 駅舎背後の緑のボリューム



⑨ 駅前広場西側を覆う緑のボリューム



⑧ 大磯駅正面のカフェ等のファサード



⑦ 大磯駅正面に立ち並ぶ商業ビルのファサード

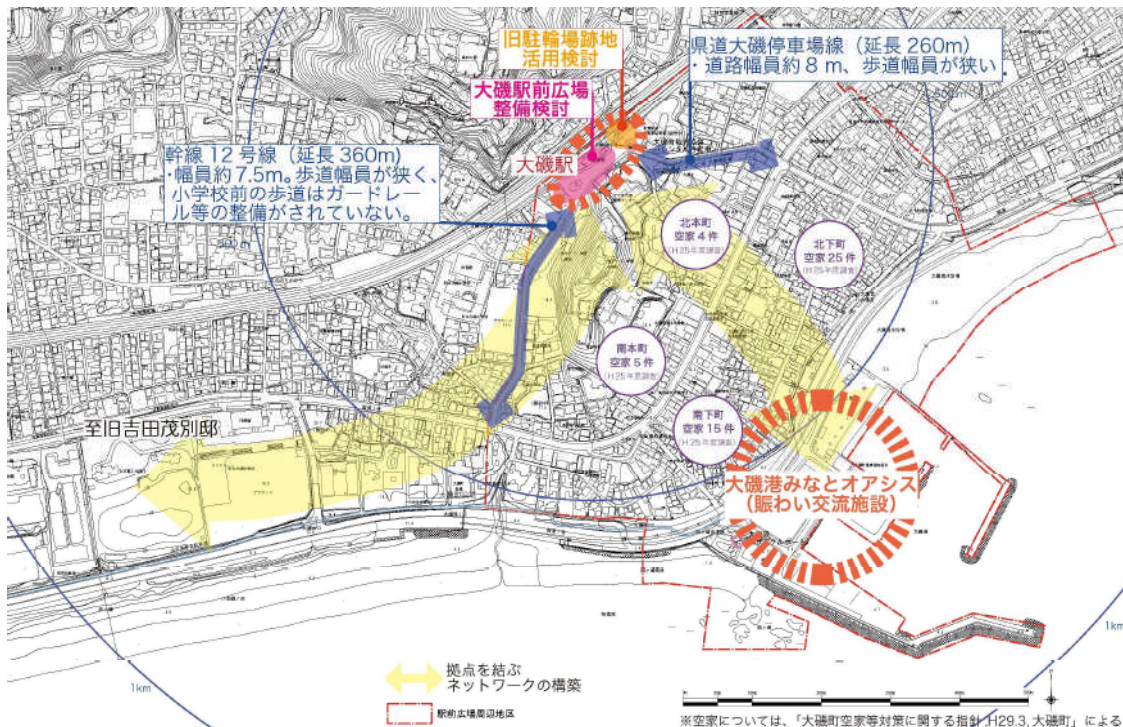


⑥ 歩道に並ぶ電柱

2-4. 計画地の課題整理

(1) 駅前広場の周辺地区の課題

- ・大磯港みなとオアシス事業による交流拠点づくりは、駅前広場など町の拠点をつなぐネットワーク網の整備が課題である。
- ・大磯駅へのアプローチ道路の拡幅等が難しいことを踏まえて、大磯の魅力を活かすと共に防災時に配慮した町の拠点形成が課題である。

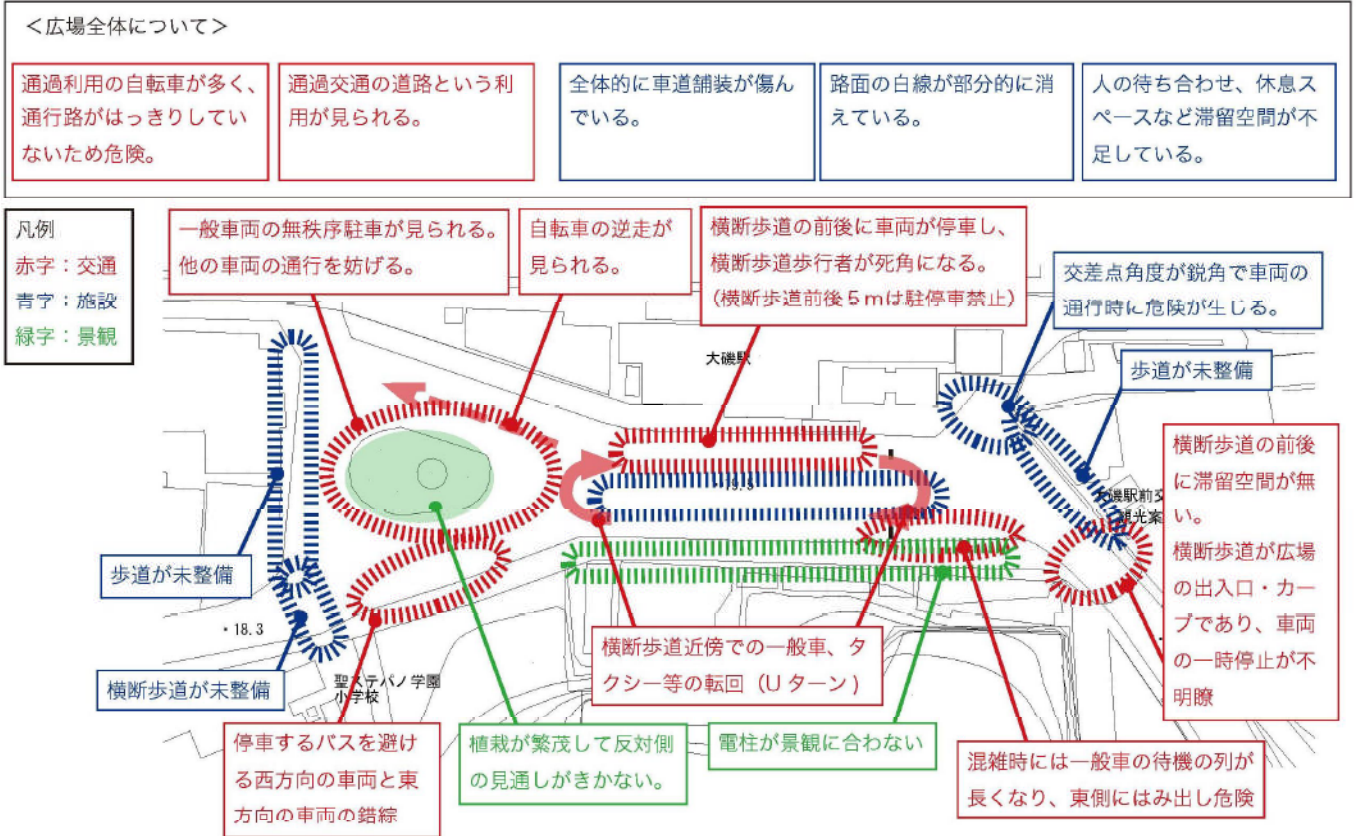


※空家については、「大磯町空家等対策に関する指針」(29.3.大磯町)による

2-4. 計画地の課題整理

(2) 駅前広場の課題

- ・ 交通に関する課題が多く、安全な駅前広場としての整備が必要となる。



2-4. 計画地の課題整理

(2) 駅前広場の課題

- ・ 安全安心な駅前広場を目指した整備方針を示す。

項目	内容	方針		
1	交通	通過利用の自転車が多く、通行路がはっきりしていないため危険。	ロータリー内の島の縮小を検討し、通行スペースを確保し各交通を整理する。	
2	ロータリー整備	ロータリー付近は一般車両の無秩序駐車が見られる。バスが複数台停まると他の車両の通行を妨げている。		
3		ロータリー南側バス停に停車するバスを避ける西方向の車両と東方向の車両の錯綜。		
4	駅舎正面広場の整備	駅舎正面の横断歩道の前後に車両が停車するため、横断歩道歩行者が死角になる。(横断歩道前後5mは駐停車禁止) タクシーの2列駐車スペースが狭く東方向の走行車との間隔が少ない。	横断歩道付近は、駐停車を防ぐためにスペースに余裕を持った施設配置を検討する。タクシーの乗り場及びタクシープールの出入口を検討し、タクシーの通行を整理する。	
5		横断歩道近傍での車両の転回(Uターン)が頻繁に見られる		
6		駅正面東側の一般車が停車する位置は、混雑時には一般車の待機の列が長くなり、走行車線にはみ出すため危険。		
7	施設	舗装等の整備	全面的に更新を検討する。	
8		舗装等の整備		路面の白線が消えて機能していない(特に中央線)。
9	歩道、横断歩道の整備	広場東側の観光案内所前の横断歩道の前後に滞留空間が確保できていない。横断歩道が広場の出入口・カーブであり、クルマの一時停止が不明瞭。	広場利用者の安全確保のため、歩行者の通行ルートには歩道整備を検討する。横断歩道の適切な配置を検討する。	
10		歩道、横断歩道の整備		広場西側の幹線12号線に横断歩道がなく道路を横断できない。
11		歩道、横断歩道の整備		広場の東側及び西側の商店前の歩道が未整備。
12	滞留空間の整備	広場全体に人の待ち合わせ、休息スペースなど滞留空間が不足している。	東側駐輪場跡地計画と共に滞留スペースを検討する。	
13	景観	植栽	ロータリー島の植栽が繁茂して反対側の見通しがきかない。	植栽は、見通しを確保するため、伐採、剪定等により整理する。
14	景観	電柱	広場南側歩道に設置されている電柱が景観に合わない。	電線の地中化を検討協議する。